

大学・地域共創プラットフォーム香川

令和5年度 第2回地域活性化部会

令和5年12月19日（火）

- | | | |
|---|--------------------|-----|
| 1 | 取組状況報告 | P1 |
| 2 | 事業アンケート結果 | P7 |
| 3 | R6年度事業計画（案）、スケジュール | P11 |
| 4 | 報告事項（PF補助金） | P12 |
| 5 | その他 | |

1 取組状況報告 『学生による観光資源の情報発信等』

執行見込額
0円

事業概要

観光資源を題材に学生目線による体験取材や情報発信、ツアー企画等を実施

実施内容

- 香川大学経済学部山崎准教授・ゼミの学生4名、香川県観光振興課、取り上げた各市町の観光部局、広告代理店、プロカメラマンと連携
- オリエンテーションを実施後、学生が、面白いと思う題材を関係者向けにプレゼン
→高松市内のアイス店、東かがわ市・さぬき市を題材として取り上げることに決定
- 広告代理店から学生向けに、記事作成のポイント等のアドバイス。さらに広告代理店と県観光振興課の協議に学生が参加
- 取材スポットの選定、アポ取り、取材、記事作成を学生が主体となり実施
- 「香川大学生が行ってきた！」シリーズとして、以下の記事を県SNSから発信
『高松市商店街周辺 夏にピッタリアイス4選』(9月)、『全身で感じる東讃の魅力！Vol.1&2』(10月)
- 年度内に、三豊市、小豆島の地域おこし協力隊と連携し、県SNSから記事を投稿予定

効果等

- 事業者目線の投稿が多かった県SNSへ新鮮な若者の目線を導入できた
- 来訪意欲の向上につながるような、大学生が楽しんでいる様子がダイレクトに伝わる記事になった
- 大学生が自ら地域を調査することによるシビックプライドの醸成
「行ったことがない場所に行ってみたい」
- 大学生がプロと協働することによる人材育成
「インターンシップでも経験できない貴重な体験ができた」

1 取組状況報告 『学生による観光資源の情報発信等』

9/7

いいね : 653

リーチ : 11,109

インプレッション : 14,263

9月の投稿平均 いいね : 753

リーチ : 11,313 インプレッション : 13,491

10/25

いいね : 1,008

リーチ : 18,198

インプレッション : 24,126

10月の投稿平均 いいね : 919

リーチ : 11,891 インプレッション : 14,728

10/26

いいね : 698

リーチ : 13,163

インプレッション : 17,378

10月の投稿平均 いいね : 919

リーチ : 11,891 インプレッション : 14,728

2

1 取組状況報告

『アンケート調査の詳細分析等と対策検討』

執行見込額 0円

事業概要

実施内容

県内大学等と県が就職支援協定を結ぶ県外大学の学生（就職活動を終えた4年生等）を対象とした就職活動や県内定着に関するアンケート調査（R4実施）の結果について、学生へのインタビュー調査で深掘りをし、両調査で把握できた内容を基に産学官のワーキンググループを設置して今後の方向性等を議論

- R4実施の就活生向けアンケート（有効回答：470件）の結果について、深掘りすべきポイントを抽出
- 主に香川大学生を対象に、インタビュー調査を実施（私立大学は今後実施予定）
- PF各構成団体に呼びかけ、調査結果を議論するためのワーキンググループを設置
- WGで、アンケート及びインタビュー調査の結果を基に今後の方向性を議論

インタビュー
対象者

団体名	学部	性別/人数	勤務地/人数				就職先の業界
香川大学	経済学部	男性 4	県内 0	県外 3	未定 1		製造業、情報通信業、公務・団体
		女性 7	県内 2	県外 2	未定 3		製造業、情報通信業、サービス業、不動産・物品賃貸業、公務・団体 など
	創造工学部	男性 4	県内 0	県外 3	未定 1		情報通信業
		女性 2	県内 0	県外 1	未定 1		卸売業・小売業、医療・福祉関連業
県内 情報通信業		男性 2	県内 2				
合計		19	県内 4	県外 9	未定 6		

ワーキング
グループ
参加団体

香川大学、高松大学、
香川短期大学、高松商工会議所、
県労働政策課、高松市、小豆島町、
NPO法人トティエ

効果等

- ・若者の県内定着に繋がる、就職活動の学生の思考・行動や県内就職への意向といった今まで実施できていなかった調査について、産学官が連携して議論と実践を繰り返し実施【次ページ及び別添資料に詳細を記載】

1 取組状況報告 『アンケート調査の詳細分析等と対策検討』

【インタビュー調査の結果】

(志望業界について)

- 小学校～高校までの体験で志望業界が決まった学生が多い。

(県外出身者の香川県への愛着について)

- 県外から来ても香川のことをよく知らず、あまり愛着がない。

(福利厚生や初任給について)

- 給与と福利厚生では、福利厚生を重視する傾向にあり、特に家賃補助、残業手当は必須と考える学生が多い。
- 土日祝休みは必須条件（クラブ活動参加のため、友人と休みを合わせるため）。
- 給与では初任給20万円以上という基準を持っている学生が多い。
- 情報通信業は、初任給22～23万円が基準であることが多い。

(就職先決定時に重視したことについて)

- 職場の雰囲気は、男女問わず、就職先決定時に重視するポイントとなっている。
- 明るい、丁寧、正直、熱意、上司と若手のコミュニケーションがキーワード。

(情報収集について)

- 公務員志望者を除く全員がマイナビ、リクナビを利用。
- 県内企業もマイナビ、リクナビで情報収集する。
- スカウト系サイトを利用する学生もいる。
- 香川県の就職サイトは認知されていない。

【WGでの議論の結果】

- 小中高生に香川県や県内企業のことを伝えていくことは重要。
- 各学校によって異なるニーズを捉えていく必要がある。

- 出身地への愛着に勝ることは難しく、効果は限定的。
- 中途採用や外国人材の検討も必要ではないか。

- 県内企業でも初任給を上げる流れはあるものの、県外大手企業の基準に追いつくのは難しい。
- 福利厚生や初任給だけではなく、生活に必要な費用の低さや暮らしやすさなども含め、学生に総合的に判断してもらうようにする必要がある。

- 企業向けのオンデマンド研修プログラムの作成等が対応として考えられる。

- 各関係機関が異なるサイトやシステムを運営/利用している中、短期的には県内企業の情報を掲載するサイトやシステムの学生への周知を積極的に進めつつ、中長期的には県内企業の情報を対象学生に確実に届けられる統一的な手法の検討が必要ではないか。

1 取組状況報告

『関係案内所等の先進事例勉強会の開催等』

執行見込額
19万円

事業概要

県内の先進事例から地域活性化のポイント等を学ぶ勉強会の開催し、課題共有、他地域への活用検討を行う

実施内容

- 11月15日に、三豊市の瀬戸内ワークス株式会社 原田佳南子代表取締役を講師にお招きし、勉強会を実施
- 大学教職員、大学生、自治体職員、地域おこし協力隊、地域づくり団体から計39名が参加
- 5年間で80以上のプロジェクトが誕生した三豊市を舞台に、ローカルスタートアップ出現の流れを作った地域商社「瀬戸内うどんカンパニー」の設立から現在至るまでの経緯を、地域商社設立当初から中心人物として関わってきた原田様が振り返り、ポイントとなったことなどを説明
- さらに、地域における人材育成の取組みである「瀬戸内暮らしの大学」を題材に、中小企業が多い県内における人材育成に関する現実の課題や「瀬戸内暮らしの大学」のビジョン、取組み内容について原田様より説明
- 参加者の質問が相次ぎ、急遽グループディスカッションから全体でのQ & Aに変更

効果等

- スタートアップが生まれたポイント
 - ・ 欲しい未来を共有する
 - ・ チャレンジする仲間を増やす
 - ・ なぜやるかを10回問い続ける
 - ・ できないことはできる人とやる
 - ・ 取るリスクを明確にする
 - ・ 無責任な仕事をする
- 実施後のアンケートでは、勉強会について回答者12名全員が「良かった」、「継続を希望する」という回答で、中には、各地域での横展開や新たな取組みの検討を進めるという意見があった



会場となった『三豊鶴』は酒蔵をリノベーションしてレストラン等として活用されている

1 取組状況報告

『産学官関係者の連携強化に向けた交流促進』

執行見込額
50万円

事業概要

地域で活躍する県内の産学官関係者や学生がつながり、連携を深める交流会等の開催

実施内容

- **2月2日（金）PM @高松商工会議所**にて、参加者間の相互理解を深め、連携を促進させるための**産学官連携交流会**を実施予定
- PF構成団体への聞き取りを基に、以下の内容を計画中
 - ①プレゼン&グループディスカッション
自治体が抱える地域課題/大学等の研究/産学官連携の事例/就活生へのアンケート調査結果 等
 - ②懇親会
軽食を取りつつ自由に交流
- 参加者100名が目標。各団体に参加者としての動員、プレゼントピック提供の調整をさせていただく

効果等

- 産官学連携のため、相互理解を図るネットワークづくり
- 各団体が持つ課題や資産についての理解を深め、今後の連携事業のきっかけとする
- 以降は、より具体的テーマを持った交流会につなげ、大学シーズと企業ニーズ/地域課題のマッチングを進める計画



2 事業アンケート結果 (Q1、詳細別紙)

◆Q1 構成員独自で行っている取組みや他団体と個別連携して行っている取組みで、地域活性化や人材の育成・定着及び活躍の場の形成に資するもの

→各構成員が様々な取組みや個別連携を行っており、概ね下記のとおり区分できる。

区分	取組内容例 (一部抜粋)
県内大学等との連携関係 (包括連携協定等による フィールドワーク、調査研究等)	・ 包括連携協定による共同調査・研究、 地域振興等に係る人材育成・交流推進 ・ 個別大学との単独連携によるフィールドワーク など
県外の大学との連携関係 (体験型プログラム等)	・ 都市圏の大学と連携した学生の就業等体験型プログラムの実施 (地域に対する理解を深め、課題解決につなげる取組み) など
市町等と企業等との連携関係	・ 市町と地元企業との包括連携協定による情報発信、イベント実施 ・ 企業、団体、教育機関等を交えた地域づくり会議や縁づくり会の開催 ・ 金融機関等を交えた高校生等対象のワークショップ実施 など
その他連携関係 (ボランティア、共同開発等)	・ 市町等主催イベントにおける学生ボランティア活動 ・ 大学生や高校生と行う地場産品を活用したメニュー共同開発 ・ 大学と地域スポーツチームが連携して行う情報発信 など
自治体間・自治体内の連携関係	・ 他県の自治体の広域連携による交流イベント、研修等の実施 ・ 県内学生による演劇公演 など

2 事業アンケート結果 (Q2、詳細別紙)

- ◆Q2 令和6年度以降に実践的に取り組めないか、取り組んではどうかと考える事項
→各構成員より様々な事項・取組みをご提案いただいた。
概ね下記のとおり区分できる。

区分	取組内容例 (一部抜粋)
観光のイベント等の 情報発信、広報等関係	・インバウンド向け観光プロモーション ・万博・瀬戸芸等に向けた情報発信強化 ・構成員主催行事等のボランティア情報の発信 など
調査結果の共有、活用等関係	・戦略改定の参考となる外国人ニーズ等調査の実施と結果共有 ・アンケート調査の深掘り、対策活用 など
相互交流マッチング等関係	・産学官関係者の連携強化に向けた交流会、勉強会、商談会等の開催 ・学生の参画を求める市町の企画・行事等と大学のマッチング ・各機関のニーズ・シーズの洗い出しとマッチング など
学生の交流・連携等関係	・都市圏の学生との交流、フィールドワーク等を通じた課題解決提案 ・地域特産品を活用したメニュー開発 ・大学生による研究発表展等の開催、企業取材 など
その他関係	・自治体と個別大学の連携支援 ・経済団体による奨学金制度創設 ・地域運営組織との連携による新たな活動 など

2 事業アンケート結果 (Q3、詳細別紙)

◆Q3 各事業の来年度の方向性

事業	方向性	左記理由
学生による 観光資源の 情報発信等	継続（強化改善）20件	学生目線からの情報発信は継続すべき、 学生投稿を各市町にリレー形式等で展開、 人の流れを呼び込むためには観光への注力が必要、 既存の取組と違う視点からの発信も有効 など
	廃止 1 件、その他 1 件	既に同様の取組みを実施 学生目線による「香川の住みやすさ」等の発信
アンケート調査の 詳細分析等と 対策検討	継続（強化改善）16件	社会人経験者の就職実態調査を実施し就活学生調査と比較、 留学生を含む外国人の就業・ニーズ調査は有意義、 多い外国人労働者の実態を把握したい など
	廃止 3 件、その他 3 件	現行体制では調査結果を活かしきれない 調査結果にアプローチした事業 （小中学生の職場体験プログラム等）の検討の実施 など
関係案内所等の 先進事例勉強会の 開催等	継続（強化改善）20件	県外から学ぶほうがいい、県外事例の勉強会の開催、 関係人口の先進事例や産学官連携の先進事例を学ぶ機会、 各地域持ち回りで取組みをまんべんなく学べる勉強会 など
	廃止 1 件、その他 1 件	サテライトオフィス等の地方進出企業等との意見交換 これまでの勉強会内容の実践（地域コンシェルジュの任命等）
産学官関係者の 連携強化に向けた 交流促進	継続（強化・改善）17件	分野やテーマを絞って交流を図ることで今後の連携強化に繋げることができる、 連携する土壌（人と人との繋がり）が整っていない・足りないと感じる など
	廃止 1 件、その他 3 件	参加が目的となり連携強化につながらない恐れ 何か別の目的をもった活動を通じて関係者のつながりを深める など

2 事業アンケート結果 (Q4、詳細別紙)

◆Q4 その他、ご意見・ご要望等

- ・ Google Form等の媒体を使った調査照会をお願いしたい。
- ・ 様々な取組み案内に対応するため、
年度の早い時期に計画が示されるとPRできる。
- ・ 万博でインバウンド需要の高まりが予想される中、
外国人観光客を意識した広域的な取組みを検討されたい。
- ・ 構成団体がメリットを感じられる成功事例を積み上げていくことが
持続可能な活動につながる。
- ・ 学生との協働は、関係人口確保の点でも重要な先行投資である。

3 R6年度事業計画（案）、スケジュール

（R6年度事業計画（案））※★は新規、☆は改善・強化点。また、予算は目安であり、今後、他部会や事務局と調整予定。

取 組	内 容	予算
①学生等による観光等資源の情報発信	・観光資源を題材に、学生目線による体験取材や情報発信等の充実・地域の横展開（☆外国人留学生等によるインバウンド向け発信、効果的な発信の講習会等の開催）	30万円
★②外国人材等の就業等に関する実態把握	・地域の社会経済を支える外国人材等について就業等の実態把握、対策の検討	50万円
③地域活性化に係る先進事例勉強会の開催等	・ニーズに即した地域活性化に係る先進事例（☆県外事例も対象）を視察し、そのポイント等を学び、県内各地域への横展開を図る	50万円
④産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	・地域で活躍する県内の企業・大学・高校・自治体の関係者や学生がつながり、連携を深める交流会等の開催	50万円
★⑤都市圏等の学生による政策提案と検証	・都市圏の学生と県内学生が地域における課題解決に向けた自治体等への提案と検証を行う	50万円
★⑥学生ボランティア募集情報の一元化	・各構成員が主催するイベントや行事等で、ボランティアを募集する情報を取りまとめ、広く発信	10万円

※その他、PFの枠組みを活用し構成員が企画・提案、実証・実践する、若者の県内定着に資する取組みを支援（今後の主なスケジュール）

R 6 年 1 月	事業実施に向けたワーキング・グループ（WG）の開催
R 6 年 2 ・ 3 月	運営委員会（予定）
R 6 年 3 月27日	PF総会

4 報告事項 (R5「大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金」)

地域活性化部会・申請対象確認分

事業名	該当する分野	事業概要	事業実施主体	参画団体	状況 (交付決定額)
県内産業の 魅力認識と 若者の地元定着 意識PLUS事業	Uターン促進、 人生100年時代の 教育展開、関係 人口連携・協働等	アントレプレナーシップの 醸成を狙い、事業者による 講演会とディスカッションの 実施、地域事業者による 取組みの講義を行う。	香川 短期大学	個別企業 せとうち 観光専門職 短期大学 高松短期大学 三豊市	交付決定 (1,568千円)
防犯アプリを 活用した陸と 空からの防犯 パトロールの 推進	地域資源開発、 その他挑戦実証 「安全・安心の 確保」	防犯アプリにおける新たな ルート探索機能の開発、防犯 グッズ・防犯アプリ使用マ ニュアルの作成、防犯アプリ を活用した防犯パトロールの 実践と効果検証。	香川大学	個別企業 香川県	交付決定 (1,820千円)